

正しい作業が、防ぐ事故。

徹底しよう! 車輪脱落を防ぐ、4つのルール

お

きまりのトルクで
きちんと 締め付けて



規定のトルクで確実な締め付けを

ち

ちゃんと増し締め
交換後



50~100km走行後に、しっかり増し締めを

な

(ナット)
っと見て ボルト触って
さあ出発!



一日一回の日常点検を

い

や待てよ? ボルトと
ナットは適正か?



ホイールに適合したボルト、ナットを



左後輪に注意!

車輪脱落の多くが、気がつきにくい「左後輪」で発生しています。左後輪の点検は重点的に行ってください。



ホイールやホイールボルトの錆に注意!

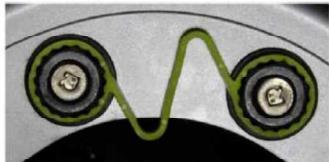
ホイールやホイールボルト、ナットの著しい錆によると思われる車輪脱落が発生しています。著しい錆のあるホイールやホイールボルト、ナットは、交換してください。



《令和3年3月「自動車の点検及び整備に関する手引き」改正》
ホイールナットマーカー等を活用した新たな点検方法や**車齢4年以上の車両に車輪脱落事故が多く発生していることを踏まえ、ホイール・ボルト及びホイール・ナットの交換目安等が規定されました。**



ホイール・ナットへのマーキング例



緩みなしの状態



左右のホイール・ナットが緩んだ状態
ホイールナットマーカーの装着例

(ホイール・ナット回転指示インジケーター（ISO方式）装着の場合)